

## 【警告】その空き家、大丈夫？冬の寒波による「給湯器のパンク」が多発しています！



気温が氷点下になると、給湯器内の水が凍って膨張し、水道管の破損による「破裂事故」が急増します。空き家の場合、発見が遅れて水道料金が高額になる場合や、周囲への浸水被害を招く恐れがあります。

### ■ 空き家所有者が今すぐやるべき「凍結対策」3か条

#### 1. 【最重要】「水抜き」を徹底する

吉見町で使用している水道メーター横のバルブは、閉めるだけで自動的に宅内の水が抜ける仕組みになっていますので、確実に閉めるようにしましょう。

#### 2. 通電状態を維持する

給湯器には「凍結予防ヒーター」が内蔵されている場合があります。ブレーカーは落とさず、電源プラグを抜かないようにしましょう。

#### 3. 配管に「保温材」を巻く

露出している配管を保温テープや断熱材で保護してください。  
方法はこちらから→[水道管のトラブルにご注意ください！！](#)

### ■ もし破裂を発見したら...

まずは「水道の元栓(止水栓)」を閉め、お近くの指定給水装置工事事業者へ修理を依頼してください。

指定業者の一覧表はこちら→[吉見町指定給水装置工事事業者一覧表](#)